

町民ワークショップニュースレター

発行日
令和8年1月

第七次函南町総合計画策定のためのWSが開催されました！！

今後10年間の町の総合的な指針である総合計画の策定にあたり、町民の皆様から、暮らし・健康（健康・福祉）分野での現状と課題、まちづくりの方向性・施策アイデアなどについてワークショップ（WS）形式で意見交換を行いました。WSは4つの部門ごとに2回ずつ開催することを予定し、今回は2回目のWSが開催されましたのでお知らせします。

日 時：令和8年1月13日（火）13:30～15:30
会議場所：函南町役場 2階 大会議室
参 加 者：31名



主な意見交換内容

5つのグループに分かれて、2つのテーマで「行政が行うこと」「協働でできること」「町民ができること」について意見交換をしました。主な内容は以下のとおりです。

検討テーマ① 「人がつながり、豊かで健康なまち」

カテゴリ	行政が行うこと	協働でできること	町民でできること
コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティに参加することのメリットを伝える ・話し合えるようなイベントの開催 ・サークル活動への入り口の場を提供（行政のサポート） ・年代に合わせた周知方法を利用する（チラシ、ポスター、広報、SNS等のいろんな方法を） 	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ年代、仲間、趣味、共通するイベント企画・運営（出会いの場、コミュニティを増やす企画） ・各集会所の活性化 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の趣味や得意なことをコミュニティでやる、人に教える ・人のつながりが希薄な人へのアプローチ
健康づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診断を受けた方は、函南町のクーポン券をもらえる ・施設や遊具のアイデア募集・ニーズ調査 ・役場内の働き方改革（時間外・休日の仕事を減らして社会参加できるようにする） ・健康マイレージの電子化、仲間との共有 ・マッサージ、リフレッシュ体操の紹介（YoutubeやHP） 	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事を辞める60歳前後を対象に社会参加（仕事・趣味・ボランティア等）を紹介するイベント企画する ・アンケートでやりたいスポーツを町民に教えてもらう。そこからスポーツ教室・クラブをつくって参加してくれる方を募る 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ体験会などの開催 ・公民館の利用を増やす（イベント、相談会） ・空いた農地を活用した体験会
福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・手続（行政）をオンライン化・実施できる幅を広げる ・高齢者の居場所づくり ・行政として居場所づくりに積極的に絡み（リーダーシップをとる）空き地、空き家の活用 ・体素計、血管年齢等を測定できる機械を置いて、健康相談アドバイス ・歩道の整理（シニアカー等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント、サークルの補助金支給（新しい人が参加したら補助金の上乗せ） ・独居、障がい児・者家庭の継続調査 ・今、人が集まっている場所で色々なイベントやってみる 	—
体の健康	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩、ランニング用（自転車サイクリング）の距離表示の設置 ・町内の散歩コースの提案（短～長距離のいくつか） ・公園の整備（フェンス等）とルールづくり（規制見直し） 	<ul style="list-style-type: none"> ・川の駅を利用したトライアスロン大会 ・地区ごとの健康習慣を設定して開催する 	—
心の健康	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSでスーパーのチラシ等の情報が手に入るとよい ・正しい情報の発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て、介護の負担→人材の活用について一緒に考える機会をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て中のママが悩んでいる、ちょっとした手助けでママが元気になる

検討テーマ② 「誰も（赤ちゃん～高齢者・障害者）が住み続けたいまち」

カテゴリ	行政が行うこと	協働でできること	町民でできること
安全安心	<ul style="list-style-type: none"> 防犯カメラの設置（通学路や大きな道路の近く） 道幅、外灯の整備 犯罪のない、交通ルールが守られる治安の良いまちづくりの意識教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉課で子どもから高齢者までを見守るサポートを養成します。困っている人を見つけて、つなぎます 	<ul style="list-style-type: none"> 危ない道を行政へ知らせる
社会基盤	<ul style="list-style-type: none"> 補助金の一覧表 補助金や政策案の公募 障害福祉サービスと介護サービスの融合 制度とサービスがすぐわかる情報誌の発行、ワンストップ相談所 どんなことや制度があれば、亡くなるまで函南町に住み続けたいと思うのかアンケートをとってみる（各世帯、外国人を含めて）リアルなニーズの把握 公共交通の整備、情報発信 相談窓口のより充実（行政、施設） 移住・定住支援の策を考える（整備） 	<ul style="list-style-type: none"> 一人暮らし高齢者、障害者等の身元保証制度 異なる世代が好きなことでつながりを持てるようなコミュニティをつくる ボランティアができる場所を増やす（発信） 	<ul style="list-style-type: none"> 草取りや犬の散歩など、余暇活動としてできる人助け 身体うごかすサークル、体操教室に参加している人が、紹介制度で近所の方を紹介したりしたら、ポイントなどをもらえる様にする
就業・シルバー	<ul style="list-style-type: none"> 移住支援、農業従事補助 優良企業公開（食振興、子育て支援） 住民の皆さんの趣味や仕事を生かした人財バンクをつくります。体験や居場所につなぐ 	<ul style="list-style-type: none"> 子供の職業体験の機会を増やす 困っていることを出来る人の登録（はちの駆除、草取りとか） 	—
若者 子ども 子育て	<ul style="list-style-type: none"> 2歳までの子どもに紙おむつのプレゼント 若い世代が住みたくなる環境の聞き取り 若者主体のまちづくり（自らの手で函南を育てる）、資金を決めて、その金額で政策を決めてもらう 子育てしている人の交流の場（仲間づくり、ゆづりの場） 子どもを気軽にあづけられる場所や人がいるとよい 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援、学校の休み中の食事や子守り 子育て支援ができるグループを作り、成長過程を応援する 	—
食・特産品	<ul style="list-style-type: none"> 函南町に長期間住んだ人へ、函南特産物のつめ合わせ（みんなが欲しがる位たくさん） 町内の特産品に興味を持ってもらう 	<ul style="list-style-type: none"> 区産区消のイベント開催（若い人を中心に）、昭和のおばさんが教える場づくり 空き家を利用（再生）したcafe 	—

ワークショップへの主な意見・感想

ワークショップの後、皆さんからたくさんのご意見を頂きました。主な意見を以下に記載しています！

●ワークショップで発言できなかったこと、後日気付いた点

町全体としていろいろな意見が出ていたけれど、まずは“近所”的な人々、環境に注目してみようと思った。／情報発信すること、既存のものを知ってもらう、新しいものを作るだけでなく拡充することが大切だと感じました。

●“町民ワークショップ”に参加してみた感想・意見・要望

もし可能なら、なんでもないような各世帯、各地区の方（組に入っていないような方、外国人の方も含めて）も出席した中で話し合いするとまた違ったニーズや対策が出るのではないかと思いました。／介護・障害の分野は特に多くの意見が出たので町民の方にとっても大きく関心がある部分だと感じました。

今後も地域の皆さまからのご意見をお待ちしています！

函南町ホームページ上で、第七次函南町総合計画策定に向けたご意見を募集しています。

募集期限：令和8年3月31日（火曜日）

URL：<https://www.town.kannami.shizuoka.jp/cgi-bin/inquiry.php/28>

